

教育社会学 (Sociology of Education)

	1年次	前期	金曜・1コマ	2単位
担 当 者	西田 芳正			
授 業 目 標	<p>教育を社会との関連で捉え、同時に教育に関する常識的な見方を批判的に捉え直す姿勢を身につける。特に教師を志望する学生には、変化する社会（家族、地域）のなかでの学校教育の位置と役割を認識し、教師として果たすべき責務と方策を考え実践する力量を形成する。具体的には、以下の能力を身につけることを達成目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育が果たす機能と学校教育の性格について説明ができること。 2. 社会の変化が人間の成長に対して及ぼす影響と諸問題について説明ができること。 3. 貧困・排除問題と学校教育が担うべき課題について説明ができること。 			
授 業 概 要	<p>人間形成にとって重要な役割を果たしてきた家族、仲間集団、地域社会について、過去との比較を通して今日的な特徴、問題について理解し、続いて今日の学校教育が抱えるさまざまな問題を把握することを目指す。また、今日深刻な社会問題として注目を集めている不平等問題を重要な切り口とし、特に貧困・生活不安定層の子ども・若者の現状と背景、支援策についても検討する。</p>			
授業時間外の学習 (準備学習等について)	<p>新聞、TV等で教育について報道されている内容について関心を持ち、批判的に読み解く習慣をつけておく。 授業に関しては、事前に文献を紹介するので、授業前後に読んでおくこと。</p>			
教 科 書	なし			
参 考 書	<p>西田芳正『排除する社会・排除に抗する学校』大阪大学出版会、2012年 志水宏吉監修・若槻健・西田芳正編集『教育社会学への招待』大阪大学出版会、2010年</p>			
成 績 評 価	<p>期末試験の評価を70%とし、授業後に提出する出席確認をかねた小レポートについて30%のウェイトで評価する。期末試験では、達成目標の諸点に関連する設問への論述と基本事項の理解を問う内容である。 単位を取得するためには、達成目標1～3の達成度が6割以上であること。</p>			
備 考				